

# 2023年度 高校総体 参加報告書

北海道で開催された高校総体の審判員として、オホーツク地区から4名の審判員が参加しました。



日時 : 2023年7月29日(土) 1回戦  
30日(日) 2回戦

場所 : 旭川市

- ・カムイの杜公園多目的運動広場
- ・東光スポーツ公園球技場
- ・旭川実業高等学校
- ・忠和公園多目的広場

## ■ 山本 貴之

### ●男子1回戦 東福岡(福岡) 対 海星(三重) (0-0 PK 5-4)

主審 山田 昌輝 氏(京都), 副審 宗像 暎 氏(十勝)・乾 直樹 氏(奈良), 四審 山本 貴之  
インストラクター 鈴木 武明 氏

### ○自己分析

主審、副審と密にコミュニケーションをとりながら、1つの審判団としてゲームに臨むことができた。後半、選手交代、選手の負傷、アディショナルタイムの表示、ベンチからの異議等が重なったことによって慌ててしまった。A1との役割分担を明確にして優先順位を定め、1つ1つ落ち着いて対応するべきであった。

### ○インストラクターからのアドバイス

1つのチームとしてよく機能していた審判団であった。67分のチーム役員に対する警告のシーンは、その事象だけ捉えて考えるのではなく、1試合を通してのベンチコントロールがどうだったかを考える必要がある。ベンチに声をかける方がよいのか、声をかけない方がよいのか、声をかけるのであればどのタイミングでどんな声をかけるのか、マネジメントするにあたって適切な方法を判断しなければならない。

### ○感想

今回初めて全国大会の舞台を経験しました。全国各地から集まった審判員の方々のピッチ内外の振る舞いからは、大いに刺激と学びを得ることができました。同時に、自分の経験の浅さ、知識の希薄さも痛感しました。ふだん主に地区の3種事業で審判活動をしている中では得がたい経験となりました。今回テーマとなった「Player's management のための表現力を高める」という点において得た学びを、今後の自身の審判活動に活かして取り組むとともに、オホーツク地区全体に還元していければと思います。

## ■ 山本 悠司

### ●男子1回戦 近江高校（滋賀） 対 成立学園（東京2） （2-2 PK4-5）

主審 ハズィム・アラール氏（富山），副審 岡 征鷹氏（大阪）・石川 恭一郎氏（神奈川），四審 山本 悠司  
インストラクター 見付 和昭氏

#### ○自己分析

- ・ゲームウォッチャーにならないように心がけつつ、ベンチの様子を観ることができた。
- ・スコアや時間帯を意識し、ベンチが熱くなったときなど声掛けできた。（もう少し早い時間帯から声掛けできると良かった）
- ・タッチジャッジやファウルなど、主審の援助ができるように自分の立ち位置から見える範囲でゲームの監視に努めることができた。
- ・「何が起きているのか」、「どうして起きているのか」を意識し、ゲームを監視するように心掛けることができた。
- ・インストラクターの見付 和昭氏からの指摘にもあったが、近江高校の選手交代のときに、レフェリーとのやり取りがうまくいかずスローをしてから止めることになってしまったので、レフェリーの身体の向きやゲームの流れ等を意識して交代がスムーズに出来たら良かった。（状況に応じて）
- ・成立学園の選手が鼻から出血をしたときに、ベンチの様子からすぐに気づき、対応することができたが、ボールへの接触シーンが自分の角度から見えにくかったとはいえ、もう少し注意深く観察すべきだった。

#### ○インストラクターからのアドバイス

- ・審判員4人が協力して試合を運ぶことが出来ていて良かった。
- ・ベンチコントロールの部分で声掛けをするなどマネジメント出来ていて良かった。
- ・遠いサイドの選手交代のとき、もう少しスムーズにできると良かった。（主審の身体の向きなど含む）
- ・（主審へのアドバイス）スローインのときに近江高校の選手がボールを少し蹴り出すシーンがあった。なぜボールを蹴ったのか。今回のテーマである“「player's management」のための表現力を高める”にも繋がる部分。主審がボールを蹴った選手に声を掛けていたが、なぜボールを蹴ったのかを的確に捉え、自分なりの表現で伝えることが大切とアドバイスしていた。

#### ○感想

今回このような大きな舞台に参加させていただくことができ、とても良い経験をすることができました。質の高いゲーム、研修会、全国から来られた審判員の方々から刺激をもらい、とても勉強になりました。今大会のチーフインストラクター安元利充氏から“「私」ではなく、「私たちの視線」で物事を捉えていきましょう。”という声掛けがとても心に残りました。今回の大会で、自分だけが成長できればという視点ではなく、オホーツク地区のサッカーに微力ながら還元出来たらと思います。また、貴重な機会をつくってくださったすべての方に感謝し、これからもオホーツク地区のために研鑽を続けていきたいと思っています。



←愛知県から研修審判員として参加している大学時代の先輩に再会することができました。

## ■ 阿部 拓歩

### ●男子1回戦 東北学院（宮城） 対 金光大阪（大阪①） （1-4）

主審 田中 悠哉 氏（新潟），副審 村田 裕紀 氏（奈良）・阿部 拓歩，四審 大川 宗憲 氏（空知）  
インストラクター 河合 英治 氏

#### ○自己分析

しっかり判定に自信をもって副審を行うことができたことはよかった。オフサイド時のフラグアップが遅くなってしまったことがあったことや、周りから見るとわかりにくい旗の使い方になったしまったことがあったことは改善が必要だと感じた。

#### ○インストラクターからのアドバイス

なぜ、その判定をしたのかを言葉で説明できるようにする（例：オフサイド→選手が利益を得た、相手選手を妨害したなど）。ギリギリ、タッチラインを割ったときにあげた旗は振りすぎない。

#### ○感想

初めての全国大会でもあり、これまでにないくらい大きなチームの応援の声を背にして副審したのは初めてだったので少し緊張しましたが、楽しかったです。普段組むことがない道外から来た審判員とも組むことができいい経験ができました。

### ●男子2回戦 関西大学第一（大阪②） 対 明秀日立（茨城） （0-2）

主審 大久保 秀斗 氏（岡山），副審 宗像 暲 氏（十勝）・大瀬良 篤 氏（大阪），四審 阿部 拓歩  
インストラクター 木口 寛 氏

#### ○自己分析

交代の手続きに気を取られ、後半のアディショナルタイムの表示ができなかったので、口頭でベンチに伝えた。交代の手続きやベンチコントロールは大きな問題もなかったのが良かった。試合では担架を使用する場面はなかったが、使う可能性があったときに担架をピッチの横に呼び出すことができたこともよかった。

#### ○感想

全国大会での4thだったので、交代の手続きの時やベンチコントロールには特に気を使いました。ベンチへの対応はあまり経験できないことでもあったので、いい経験になりました。また、A1には1級審判員の宗像さんが入っていたので、心強かったです。

インターハイで審判をしたことはとてもいい経験になりました。また、この大会で得た経験などを多くの人に還元していきたいです。この大会に関わっていただいたすべての人に感謝しています。ありがとうございました。



## ■ 鈴木辰汰

### ●男子1回戦 神戸弘陵（兵庫） 対 青森山田（青森） （1-3）

主審 阿部 達也 氏（新潟），副審 木戸 洋平 氏（埼玉）・鈴木 辰汰，四審 北野 稜 氏（札幌）  
インストラクター 鈴木 武明 氏

#### ○自己分析

経験したことのない選手たちのポテンシャルの中で、暑さもあったがフィジカル的に対応できたと思う。全国ともなると今までの自分の経験から予測しづらいプレーもあったが、概ね対応することができたと感じる。フリーキックのマネジメントなどももう少し主審と目を合わせて互いに協力して、両チームにストレスなくプレーしてもらうために出来ることがあったのではないかと感じる場面があった。

#### ○実技：インストラクターからのアドバイス

非常に堂々と素早く判定できていた。

### ●男子2回戦 青森山田（青森） 対 國學院久我山（東京①） （5-2）

主審 濱 惇一郎 氏（福岡），副審 木戸 洋平 氏（埼玉）・田口 平蔵 氏（札幌），四審 鈴木 辰汰  
インストラクター 安本 利充 氏

#### ○自己分析

想像していたよりも落ち着いた試合だったこともあり、自分がベンチコントロールなどで動くことのなかった理想的なゲームであった。前半、担架を入れる場面があったが、担架担当の生徒が慣れていないということもあり少しタイムラグが起きてしまったので、前もって生徒と打ち合わせをする必要があると感じた。交代がこまめに両チームあったが、確実に行えたのはよかったと感じる。

#### ○実技：インストラクターからのアドバイス

担架要員の生徒と軽く打ち合わせをするといい。落ち着いて対応できていた。

#### ○感想

自分自身初の全国大会でスケールの大きさに事前研修から驚かされ続けていた中で、自分の実力に自信を持つことができたと同時に、自分の知識と経験不足を痛感する場面が多々ありました。特に、研修会・振り返り時には、考えを言語化する力・試合中や試合間の思考力の深さなど、改めて次元が違ったと感じたとともにここに来て良かったと感じることのできた本当に貴重な機会でした。この経験をこれからの審判人生に繋げて更なるレベルアップに向けて頑張っていこうと思いました。

この大会に派遣していただいたオホーツク地区サッカー協会様、北海道サッカー協会様、そして大会運営にご尽力していただいた皆様誠にありがとうございました。

